

未来を開く

長井市立長井北中学校

No38 令和7年1月10日

新しい1年の始まり 抱負や決意を持ちスタートしよう!

【校長式辞から】(抜粋)

明けましておめでとうございます。2025年、令和7年が始まりました。

今自分の中に、新年にあたっての決意や抱負はありますか。決意や抱負を見定め、その思いを持ち続け、努力を重ねていってほしいと思います。

皆さんも知っているとおり、今年の干支(えと)は「巳(み)」、「へび」です。干支は一般的には十二支として、12種類の動物に例えられ、12年で1回りすることが知られています。更に詳しく言うと、十干(じっかん)という太陽を象徴とした生命の循環を表す10種類のものとの組み合わせにより、60年で1回りしています。その60年の中でも、今年は「乙巳(きのと・み)」という年にあたります。「乙(きのと)」には、物事が順調に進まないことがあったとしても様々な道筋をたどりながら進むことや、その過程を通してしなやかに伸びる」という意味があるそうです。また、「巳(み)」には、脱皮を繰り返す「へび」のイメージから「再生と変化」という意味があるそうです。この2つのことを組み合わせると、「乙巳(きのと・み)」は、努力を重ね、着実に変化を遂げ、物事を安定させていく年であると言えるそうです。今年度の北中スローガンに含まれる「しなやかに」や「伸びる」にも通じる1年になるのではないのでしょうか。

「へび」に見られる脱皮のように、私達も人として日々成長していかなければなりません。その絶好の機会が新年や新学期を迎えたタイミング

です。だからこそ、新年の決意や抱負を持ちたいものです。決意や抱負のような目標を持っていた方が、私達は日々の生活をより充実させたり、自分をよりよく成長させたりすることができます。

3年生の皆さん、いよいよ受験の 때가 やって 来 ました。人生の節目のタイミングです。乙巳(きのと・み)で言えば、順調に勉強などが進まないことがあるかもしれませんが、努力を重ね、変化を遂げる準備をすることが大切です。そうすれば、自ずと結果が出て、新たな道が開け、春からは、脱皮した姿で希望に向かって出発することができると思います。全員で応援態勢を整え、全員の進路希望の実現に向かっていってほしいと思います。また、もう1つの役割を忘れてはなりません。北中の先輩として、あるべき姿を1・2年生に見せ続けてほしいと思います。

1・2年生の皆さん、あなた方をよくリードしてくれた3年生はあと2か月で卒業します。2年生はあらゆる面で北中の真のリーダーになります。1年生は中堅学年として新3年生を支えるとともに、新入生の先輩になります。1・2年生ともに、北中生の在り方を後輩に姿で示していかなければなりません。乙巳(きのと・み)で言えば、1・2年生の皆さんは、この3学期で、それに値する気持ちと行動力を備えた学年になる準備をし、先輩としての姿に脱皮することだと思います。また、学習においても1年のまとめをしっかり行い、進級にあたって必要な学力をしっかり身に付けてほしいと思います。

3学期、そしてこれからの1年が北中生1人1人にとって、なりたい自分へと変化を遂げるものになることを期待します。

新年の抱負
早寝早起き
朝活

三年四組

佐藤 ちあき

思いを形に「海外たすけあい募金」

本校は、「青少年赤十字」活動に参加しています。その一環として、12月19日(木)から24日(火)まで、「海外たすけあい募金」活動を行いました。この募金は、日本赤十字社とNHKが毎年12月に実施しているもので、世界各地で紛争、災害、病気などで苦しんでいる人々を支える活動に役立てられます。

令和7年度の生徒会役員による呼びかけと熱意で活動が行われ、10,171円の募金が集まりました。

集まった募金は、令和7年度の生徒会長 宮内 智弘さん、副会長 井上 粹さんから山形県赤十字の方に手渡されました。



スキーのご準備をお願いします

既にご案内をしておりますが、スキー授業等が以下の日程で行われます。スキー用具等のご準備をよろしくお願いいたします。

1月21日(火)	2年生	道照寺平スキー場
1月24日(金)	1年生	道照寺平スキー場
1月31日(金)	1・2年生	蔵王温泉スキー場



努力することの意味とは？

1月8日(水)の九里学園高等学校の推薦入学者選抜を皮切りに、今年度の高校入試が始まりました。人生には何度か節目があり、決断をしなければならない時があります。3年生は今、その時を迎えています。

校舎の西階段を1階から2階に上がって行くと、3年主任の東海林美幸先生がいつも3年生にメッセージを送っているホワイトボードがあります。今は、次のようなメッセージが書かれています。

努力して結果が出ると自信になる
努力せず結果が出るとおごりになる
努力せず結果も出ないと後悔が残る
努力して結果が出ないとしても経験が残る

名言だなと思い、しばらく足をそこで止めてしまいました。誰の言葉なのか気になり、東海林先生に聞いてみたり、自分で調べたりしてみたのですが、わかりませんでした。

この言葉を見た時に、フィギアスケートで大活躍をした羽生結弦さんが努力について語っていた言葉を思い出しました。羽生結弦さんは、「努力は嘘をつく。でも無駄にならない。努力の正解を見つけることが大切。」と言っていました。その時は、難しい表現で理解ができなかったのですが、ホワイトボードに書かれていたこの言葉が答えになるのではないかと思うことができました。

高校入試を迎えている3年生に向けたメッセージではありますが、1・2年生の毎日の生活にも当てはまる言葉だと思いましたので、紹介しました。

先人や現存の著名な人達が残した言葉の中には、努力に関わるものがたくさんあります。是非調べてみて、自分の大切にしたい言葉として心の中に残したり、書き留めてみたりしてはどうでしょうか。くじけそうになった時、自分を支えてくれる言葉になるかもしれません。